

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益財団法人 九州交響楽団
公演団体名	公益財団法人 九州交響楽団

内容
<p>【鑑賞指導】</p> <p>「本公演を100倍楽しむ！」ために、“音”や“音楽の三大要素”を説明した上で、本事業のテーマである情景を表わす曲を演奏し、何を表現しているのか？を想像しながら聴いてもらい、本公演プログラムのイメージを膨らませてもらう。</p> <p>また、あらゆるジャンルの「ソドレミ」で始まる曲でメロディのおもしろさや、長調曲の短調演奏でハーモニーの不思議を感じてもらう。</p> <p>1. 『ドレミの“いろは”』</p> <p>“ドレミの歌”を使って、「音の構成（知識面）」や半音や調性などの「音の特徴（知覚面）」を説明し、「本公演を100倍楽しむ！」ための『聴き方』を学ぶ。</p> <p>2. 『音楽の三大要素』</p> <p>これを知ると、クラシックのみならずポップスや童謡・唱歌まで音楽がおもしろくなる！</p> <p>①「メロディ」…クラシックやポップス、童謡、唱歌まであらゆるジャンルの楽曲に共通する「ソドレミからはじまる音楽」を説明し、実際に「ソドレミ」で始まる曲を演奏し聴いてもらう。</p> <p>②「ハーモニー」…長調と短調の仕組みや違いを説明し、実際に演奏を聴くことで、その曲が持つ“カラー”を感じてもらう。</p> <p>例えば、ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」のメロディ等を取り上げ、短調を長調に変換して演奏し聴いてもらう。</p> <p>③「リズム」…指揮体験や打楽器共演の練習を通して、様々な拍子やリズムを説明する。</p> <p>3. 『情景描写』</p> <p>本公演で演奏する「グリーグ／ペール・ギュント」や「小山清茂／管弦楽のための木挽歌」、「ビゼー／カルメン」の一部分の演奏を聴くことで、“音楽が表わす情景”や“楽器の役割”を知り、本公演での鑑賞のためのガイドとする。</p>

【実技指導】

本公演で練習の成果を十分に発揮し、プロオーケストラとの共演という貴重な体験を充実したものにす。「お手本 DVD」を活用した練習の中で、チームワークの重要性を体感し、協調性を身に付けてもらう。

1. 『指揮体験』練習

「お手本 DVD」を見ながら拍子やリズムを説明し、ピアノ伴奏を指揮して指揮練習する。

2. 『打楽器で共演』練習

2つのパートに編曲した楽譜を用い、打楽器（太鼓）でオーケストラと共演する指導を行う。児童生徒が視覚でリズムを理解しやすいよう各パートのフレーズ毎に楽譜を色分けする。

バチの持ち方の指導から始め、ピアノ伴奏でリズム練習をする。「お手本 DVD」を見て共演曲の全体のイメージを説明する。また、本公演までの練習の進め方を指導する。

タイムスケジュール（標準）

8時30分 学校到着 ～ セッティング ～ ゲネプロ

10時30分 ～ 11時15分 【鑑賞指導】

<休憩15分>

11時30分 ～ 12時15分 【実技指導】

12時15分 ～ 12時30分 本公演までの共演練習の進め方などの打ち合わせ

12時30分 ～ 13時00分 本公演会場確認、楽器搬入・搬出動線、出演者控室確認など

13時00分 学校出発

派遣者数

主指導者 弦楽器奏者

補助者 弦楽器奏者、打楽器奏者、ピアノ奏者、スタッフ（2名）

学校における事前指導

事前指導は必須ではないが、ワークショップを効果的かつスムーズに進めるために、可能な範囲でワークショップの趣旨や概要を児童生徒に説明をお願いします。

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書

制作団体名	公益財団法人 九州交響楽団
公演団体名	公益財団法人 九州交響楽団

演目

『情景描写』

～ 作曲家や演奏者が楽器を使って何を伝えようとしているのでしょうか

情景を心に浮かべ、想像しながら聴いてみましょう ～

1. ロッシーニ／「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進

2. 山下康介／『楽器紹介』

3. 小山清茂／管弦楽のための木挽歌

4. 指揮者体験コーナー ♪

小学校…ビゼー／歌劇「カルメン」より 前奏曲 の一部分

中学校…ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 の一部分

5. オーケストラと演奏しよう 『太鼓の名人』 ♪

ヴェルディ／「レクイエム」より 怒りの日 の冒頭部分

～．～．～．～．～．～．～．～． 休憩 ～．～．～．～．～．～．～．～．

6. 西田紘子構成 グリーク／音楽物語「ペール・ギュント」

1) 「イングリッドの嘆き」

2) 「山の魔王の宮殿にて」

3) 「オーセの死」

4) 「朝」

5) 「ペール・ギュントの帰郷」

6) 「ソルヴェイグの歌」

E.C.1.オーケストラ演奏で校歌を合唱 ♪

E.C.2.ヨハン・シュトラウス1世／ラデツキー行進曲

♪ = 児童生徒の共演参加曲目

公演時間 (小学校：90分、中学校：100分)

派遣者数

- ・ 指揮者：梅田 俊明（10月）、栗辻 聡（11月）
- ・ 司会者：江原 陽子
- ・ オーケストラ：九州交響楽団

フルート：3名、オーボエ：2名
クラリネット：2名、ファゴット：2名
ホルン：4名、トランペット：2名
トロンボーン：3名、チューバ：1名
ティンパニ：1名、打楽器：3名
ハープ：1名、ピアノ：1名
第一ヴァイオリン：12名
第二ヴァイオリン：10名
ヴィオラ：8名、チェロ：8名
コントラバス：6名

- ・ スタッフ：8名

合計：79名

タイムスケジュール（標準）

- 8時00分 セッティング開始（楽器運搬トラック・ステージスタッフ到着）
- 9時30分 楽団員到着
- 9時30分 セッティング完了
- 10時00分 進行打ち合わせ
- 11時00分 リハーサル開始
- 12時30分 リハーサル終了
- 14時00分 開演
- 15時30分 終演
- 15時50分 楽団員出発
- 17時00分 楽器搬出完了（楽器運搬トラック・ステージスタッフ出発）

実施校への協力依頼人員

- ・ 暑さ、寒さ対策（大型扇風機、大型ストーブなど）
- ・ 控室（指揮者、コンサートマスター、司会者、男性、女性）
- ・ 控室の目隠し
（カーテンやブラインドがない場合は模造紙や新聞紙で目隠しをお願いします）
- ・ 動線案内掲示（「控室⇄会場」、「控室⇄お手洗い」など）

演目解説

本事業のテーマである『情景描写』を表現した曲目をプログラム。

本公演後半のメインプログラム、グリーグ／音楽物語「ペール・ギュント」は、ナレーションや登場人物の台詞を入れた当楽団オリジナル脚本と、情景や登場人物の気持ちを表現した生の演奏で、児童生徒は物語の世界観を膨らませることができる。前説では、あらすじのほか登場人物や情景をパネルで紹介し、物語の理解を深め、楽器の特徴や音色を生かした情景描写を感じることができる。

1. ロッシーニ／「ウィリアム・テル」序曲より スイス軍の行進

スイスに平和をもたらした国軍の行進と民衆の歓喜が描かれている。

2. 山下康介／『楽器紹介』

オーケストラで使用する楽器の特徴を紹介する当楽団オリジナル作品。

3. 小山清茂／管弦楽のための木挽歌

「テーマ」～「盆踊り」～「朝のうた」～「フィナーレ」

一つの民謡が少しずつ変化しながら生まれ育っていく様子が描かれている。

4. 指揮体験コーナー

小学生…ビゼー／歌劇「カルメン」より 前奏曲 の一部分

数ある歌劇の中でも最も有名な「カルメン」の冒頭に演奏される楽曲。

軽快なテンポと勇壮な響きが特徴。

中学生…ブラームス／ハンガリー舞曲 第5番 の一部分

短調のエネルギッシュな曲。中間部のテンポの揺れ動きを指揮体験で表現する。

5. ヴェルディ／「レクイエム」より「怒りの日」の冒頭部分

最後の審判の情景。

CMやゲーム音楽でも知られる曲の冒頭部分を当楽団がオリジナルで編曲。大太鼓や小太鼓、檜太鼓や締太鼓など打楽器でオーケストラと共演する。

ワークショップや本公演までの練習の成果を披露する。

6. 西田紘子構成 グリーグ／音楽物語「ペール・ギュント」

曲目解説やナレーション、登場人物の台詞を入れた、当楽団オリジナル脚本。

E.C.1. オーケストラ演奏で校歌を合唱

E.C.2. ヨハン・シュトラウスⅠ世／ラデツキー行進曲

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

【指揮体験】

ワークショップで「お手本 DVD」を見ながら拍子やリズムを説明し、ピアノ伴奏を指揮して指揮練習する。本公演では児童生徒の代表が指揮体験でオーケストラと共演する。本公演当日のオーケストラ合わせリハーサルでは、指揮者が指揮体験者へ直接指導する。

【打楽器で共演】

ワークショップでバチの持ち方の指導から始め、ピアノ伴奏でリズム練習をする。「お手本 DVD」を見て共演曲の全体のイメージを説明し、本公演では児童生徒の代表が打楽器でオーケストラと共演する。指揮体験と同様に、本公演当日オーケストラと合わせリハーサルを行う。

児童生徒とのふれあい

児童生徒との共演（指揮体験や打楽器、校歌合唱）で気持ちのふれあいを大切にし、オーケストラを身近に感じ、音楽への興味を持つきっかけとする。

